

## 15. 参考文献リストの作成

### 15-1 作成方法の種類

参考文献リストの形式は投稿先ごとに異なります。RefWorks内で参考文献リストを書き出し、コピーをして論文に張り付けることができます。参考文献リストの生成方法は、次のものがあります。

	1. 対象レコードから生成	2. Write-N-Citeを使って生成	3. 引用記号から生成
概要	RefWorks内で参考文献リストを書き出し、コピーして論文に張り付ける	ワンクリックで論文中に引用記号を挿入し、保存した論文から参考文献リストを生成	RefWorks内で引用記号をコピーし、論文中に貼り付け、保存した論文から参考文献リストを生成
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 生成操作が最も単純で簡単</li> <li>➢ 文中引用を入れる作業が手作業となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 文中引用を入れる作業も自動的に行われる</li> <li>➢ Write-N-Citeというソフトをインストールする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ソフトのインストールは不要</li> <li>➢ 文中引用を入れる作業も自動的に行われる</li> </ul>
出力イメージ	<p>であることが分かった。 である。</p> <p style="text-align: center;">References</p> <p>1. 福島慎二 (2012) : 海外勤務者に…日本職業・災害医学学会誌 60:26-273</p>	<p>であることが分かった。<sup>1</sup> である。<sup>2</sup></p> <p style="text-align: center;">References</p> <p>1. 福島慎二 (2012) : 海外勤務者に帯同し途上国長期滞在する…日本職業・災害医学学会誌 60:26-273</p> <p>2. Furdova,A(2011):Lance 100:10-15</p>	

### 15-2 参考文献出力フォーマットが一覧に収録されていない場合／出力フォーマットを管理する

※出力フォーマット一覧に収録されていない場合は、作成しますので図書館までご連絡ください。

- ①[参考文献の作成]をクリックします。
- ②参考文献の作成に展開しますので、プルダウンから探します。
- ③収録されていない場合は、[Manage Output Styles]をクリックします。

The image shows a sequence of steps in the RefWorks interface:

- The top navigation bar includes 'レコード', '参照', '検索', '参考文献', 'ツール', and 'ヘルプ'. The '参考文献' (References) menu is highlighted with a green box.
- A dropdown menu is shown under '参考文献', with '参考文献の作成' (Create Bibliography) selected and highlighted with a green box.
- The 'Create a bibliography from a list of references' dialog box is displayed. It has fields for 'References to Include From', '出力フォーマットを選択する' (Select output format), and 'Select a File Type'. The 'Manage Output Styles' button is highlighted with a green box.
- A separate window shows the '出力フォーマット管理ツール' (Output Format Management Tool) menu, which is also highlighted with a green box.
- A callout box with a red border contains the text: 「出力フォーマット一覧」(p. 29)に展開します。 (Expand to 'Output Format List' (p. 29)).

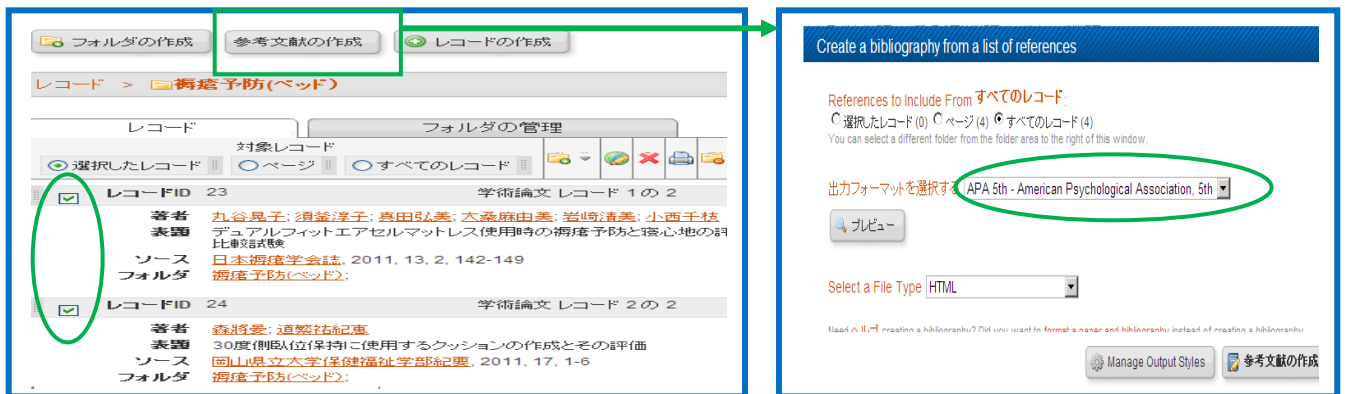
③「出力フォーマット一覧」から使いたいフォーマットを探してクリックし、「追加」(➡)をクリックすると、右側のお気に入りの一覧にフォーマットが追加されます。

④追加したフォーマットが参考文献の作成画面のメニューに表示されます。



### 15-3 参考文献リスト作成(1) 対象レコードから作成

①該当の文献リストにチェックを付け、[参考文献の作成]をクリックすると、参考文献の作成に展開しますので、出力フォーマットを作成します。



⑤参考文献リストが表示されますので、コピーして必要な部分を貼り付けます。

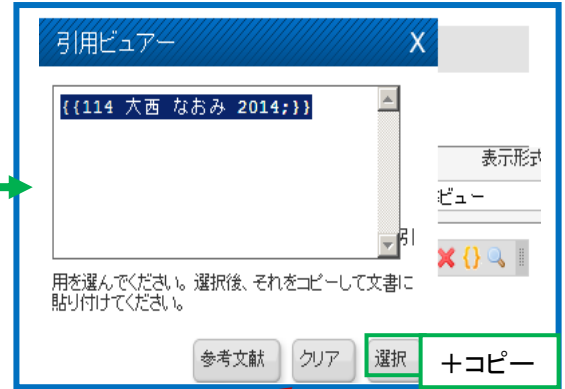
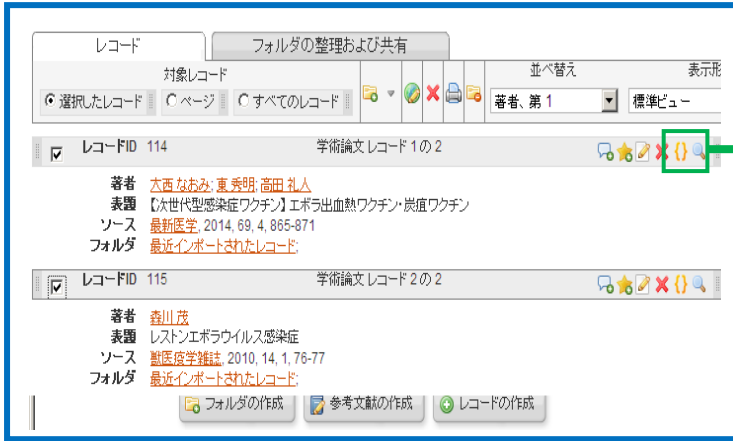


出力フォーマット管理ツールにフォーマットが無い場合は、作成することができます。作りたいフォーマットに近いものを選んで作業します。編集画面へのアクセスは、「参考文献」→「出力フォーマットの編集」になります。

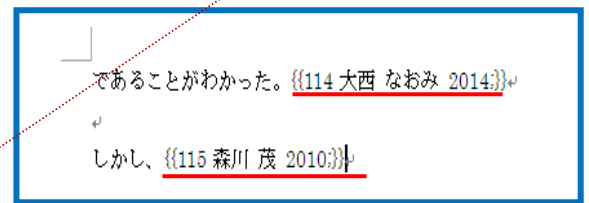
- 丸谷晃子, 須藤洋子, 奥田弘美, 大桑麻由美, 岩崎清美, 小西千枝, デュアルフィットエアセルマットレス使用時の褥瘡予防と寝心地の評価 心臓大血管患者におけるランダム比較試験, 日本褥瘡学会誌, 2011, vol. 13, no. 2, p. 142-149.
- 森経長, 遠藤紀彦, 30度側臥位保持に使用するクッションの作成とその評価, 岡山県立大学保健福祉学部紀要, 2011, vol. 17, p. 1-6.

## 15-4 参考文献リスト作成(2) 引用記号から作成

- ①Wordで論文データを開いておきます。
- ②RefWorksで引用したいレコードの**[引用]**をクリックすると、引用ビューアがひらきます。
- ③**[選択]**をクリックしコピー(Ctrl+C)します。

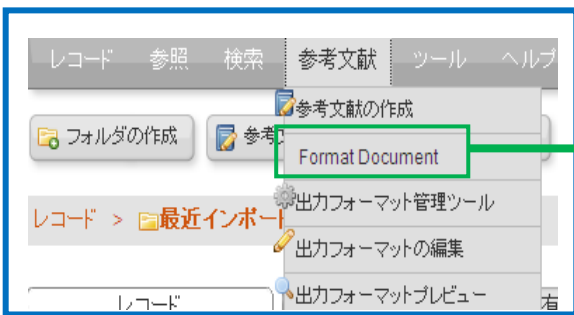


- ④論文の引用を挿入したい箇所に引用記号を貼り付けます。  
論文を書き終わったらWord文書を所存しておきます。  
**※ファイル名は半角英数にしてください。**

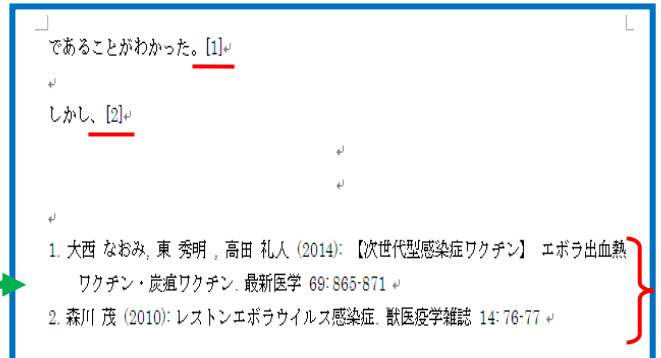
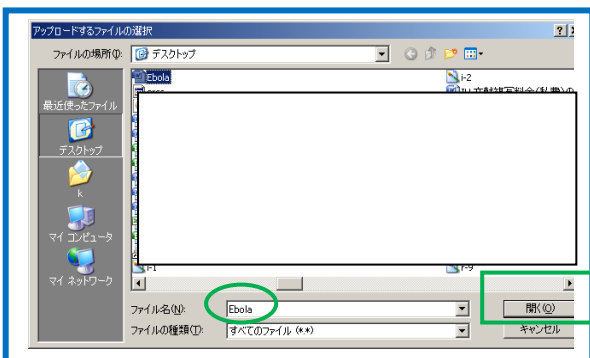


※コピーをしたらクリアボタンを押しておきます。「クリア」ボタンを押さないと、次に別のレコードで引用ビューアを開いた時に、一度コピーした引用記号がそのまま表示されます。

- ⑤メニューバーの「参考文献」から**[Format Document]**を選択します。
- ⑥出力フォーマットを選択し、**[select a file]**をクリックします



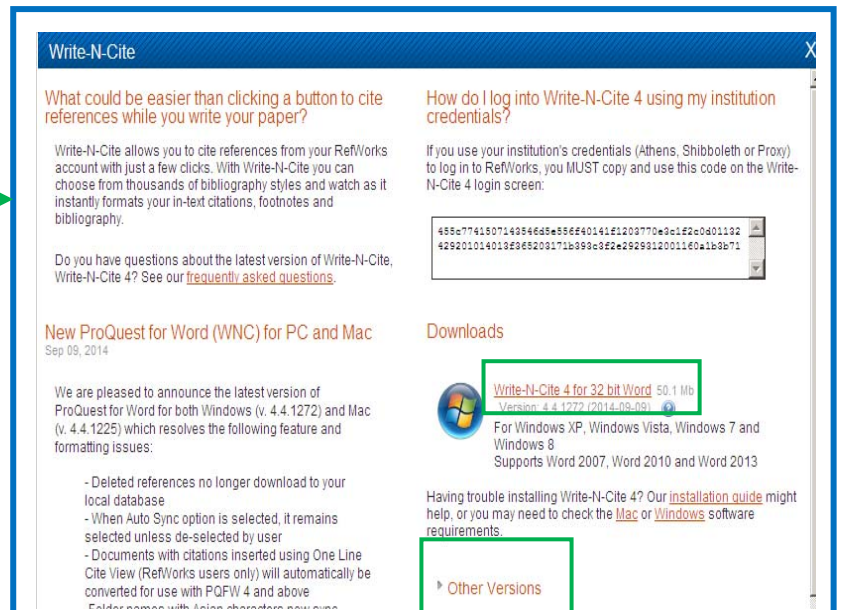
- ⑦パソコンから保存したWord文書を選択します。
- ⑧末尾に参考文献リストが追加されたWord文書が生成されます。文中引用も自動的に挿入されます。



## 15-5 参考文献リスト作成(3) Write-N-Cite を使って作成

Write-N-Citeを利用するにはまず、ソフトウェアをインストールします。

- ①メニューバーのツールから[Write-N-Cite] をクリックします。
- ②Write-N-Citeのダウンロードページが表示されますので、[Other versions]をクリックします。
- ③[Write-N-Cite 4 for 32bit Word]をクリックします。  
※Macを使われる場合は、Mac版を選択してください。
- ④ダウンロードが完了すると、デスクトップに[wnc3inst.exe]というアイコンが出現しますので、ダブルクリックしてインストールを開始します。



- ⑤インストールが完了すると、

[Write-N-Cite]  
のアイコンが  
出現します。



### Mac に Write-N-Cite をインストールする際の注意

※Microsoft Office はサービスパック等、更新プログラムをなるべく適用し、最新の状態にしてください。また、Wordしか使わない場合でも、できるだけフルインストールして利用してください。

※doc 形式、docx 形式どちらにも対応していますが、途中で形式を変更すると引用リスト作成時エラーとなる場合があります。できるだけ作業完了まで形式を変更しなないようにしてください。

※Write-N-Cite はなるべく最新のバージョンを使用してください。Write-N-Cite for Macintosh 2 を使用している場合は、旧アプリケーション、設定ファイルを解除してからインストールしてください。

Write-N-Cite for Macintosh2 の設定ファイルは、「com.refworkswnam.plist」という名前での以下の場所にあります。

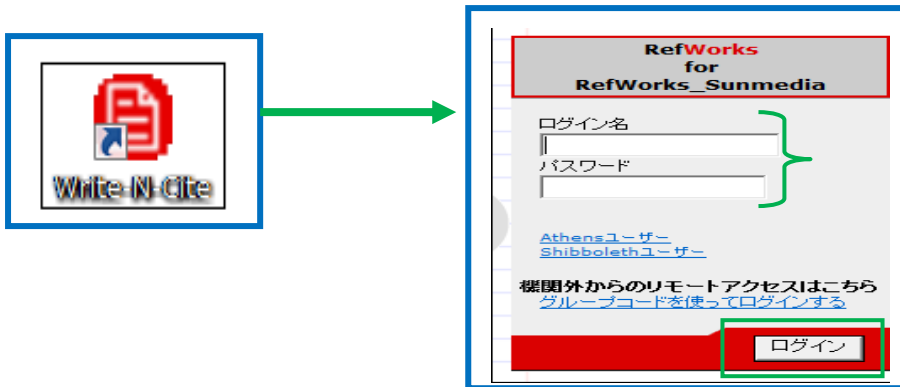
「(ユーザー名)/ライブラリ/Preferences/com.Refworks.wnam.plist」

※Write-N-Cite for Macintosh の最新バージョンは 4 です。RefWorks2.0 のツールメニューからダウンロード可能です。対応している OS は Write-N-Cite for MacOSX10.5 (Leopard)、10.6 (Snow Leopard)、10.7 (Lion) です。

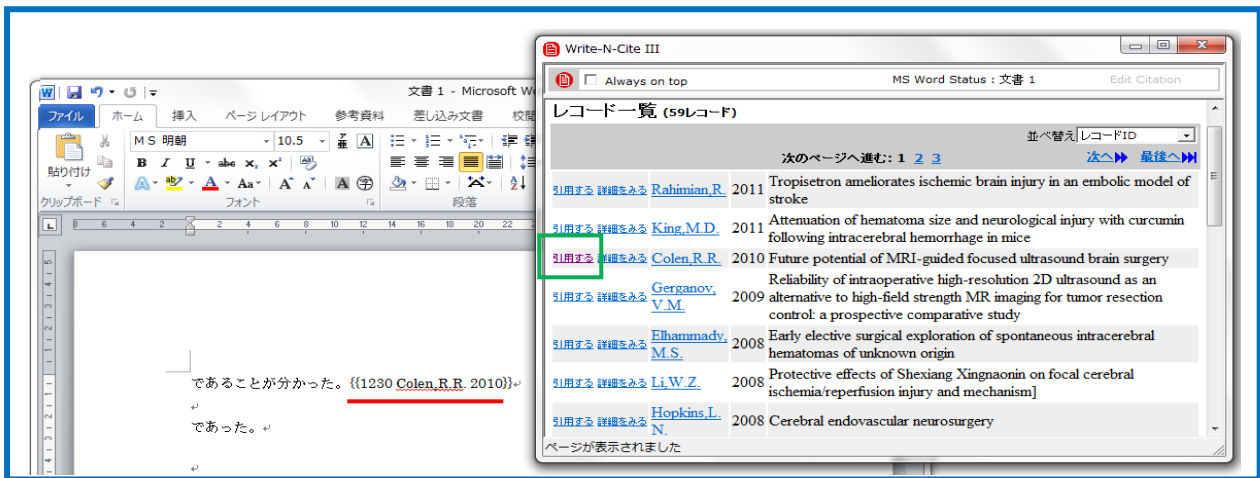
Write-N-Cite for Macintosh4 は、Microsoft Word for Mac2008、2011 のプラグインとして動作します。対応外のバージョンの OS や Word、他のアプリケーションとの組み合わせや単独使用はできません。インストール後は、Microsoft Word を起動するとツールバーが表示されます。表示されない場合、メニューの「表示 > ツールバー > Write-N-Cite」を選択することで表示・起動させることができます。

※Write-N-Cite 2 では引用タグの挿入時、日本語が含まれると一時的に文字化けしますが、引用リスト作成時には引用タグ部分を含めて文字化けなく作成できます。

- ①Write-N-Cite のアイコンをダブルクリックします。
- ②Refworksのログイン名とパスワードを入力し、**[ログイン]**をクリックします。



- ③Wordで論文データを開き、Word文書内の引用を挿入したい部分をクリックし、カーソルを合わせます。
  - ④Write-N-Cite の画面で、引用したいレコードの「引用する」をクリックすると、論文データに引用記号が貼り付きます。
- ※2件の文献を引用したい場合は、カーソルを動かさず、レコード2件連続して「引用する」をクリックします。
- ※論文を書き終わったらWord文書を保存しておきます。ファイル名は、「**半角英数**」にしてください。
- ※参考文献の生成前に引用したレコードを削除してしまうと、参考文献生成時にエラーとなってしまいますのでご注意ください。



- ⑤Write-N-Cite のメニューバーの**[参考文献]**をクリックします。
- ⑥出力フォーマットを選択し、**[参考文献の生成]**をクリックします。
- ⑦論文の末尾に参考文献リストが生成されます。文中引用も自動的に挿入されます。

